

授業科目

日本語表現法I

担当教員名 各学科担当教員	対象学年	1	対象学科	全学科
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○			○	○

授業の概要

高等教育を推し進めていく上で必要とされる、「読む」、「書く」、「発表する」ことを中心とした、日本語能力および表現能力の向上を図る。

授業の目的

日常会話とは異なる公的な文書について理解するとともに、レポートの書き方について学修する。

学習目標

1. 一般的に用いられる語彙および簡単な専門用語を読み、書き、説明することができる
2. 文章を読み、それを要約することができる
3. 他者の話の中からキーワードを取り上げ、内容を要約することができる
4. 表、図、グラフなどの情報から気づいたことを他者に伝達（口述・記述）することができる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題
1	オリエンテーション 語彙トレーニング
2	語彙トレーニング
3	ディクテーション（聞き書き）
4	ディクテーション（聞き書き）
5	ディクテーション（聞き書き）
6	口頭発表トレーニング
7	口頭発表トレーニング
8	まとめ
【注】 学科により内容が異なる場合があるため、初回オリエンテーション時に確認し、掲示板にも注意すること。	

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	知へのステップ第3版	学習技術研究会編	黒潮出版	2011年	1,800円	
その他の資料	必要に応じて資料を配布する。					

評価方法

授業態度、授業への貢献度

履修上の留意点

授業参加に加え、積極的に自己学習に取り組む態度が求められる。
また、本科目は、各学科の担当教員が実施する。

オフィスアワー・連絡先

第1回目の講義時に確認のこと。